

# KVK シングルレバー式シャワー水栓 施工説明書

## LFA547(W)T12 〈各仕様共通〉

**施工業者様へ** 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

### 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
  - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<b>警告</b>	<p><b>湯水を逆に配管しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b></p> <p>水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>禁止</p> <p>水抜きつまみをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯ホース含む)には絶対に通電しないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>通電すると水栓や給水・給湯ホースが発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<b>注意</b>	<p><b>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</b></p> <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。</p>	<p><b>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。</b></p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどをしないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>

配管接続部をテーパねじに接続しないでください。



テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。



けがをすることがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。

止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。



点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 注意

小型電気温水器(即湯器)等に給湯ホースを接続する際は、ステンフレキ管等を介してください。



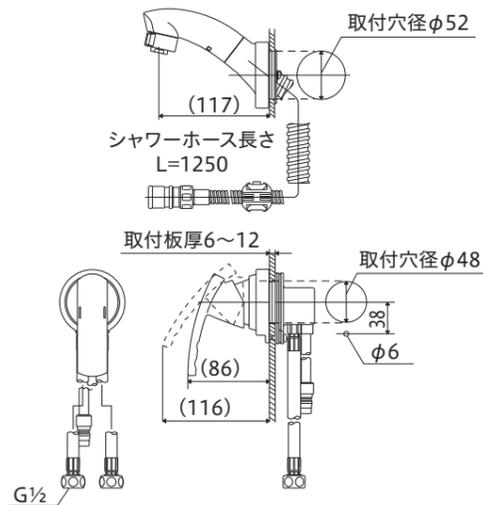
高温の熱により給湯ホースの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 寸法図



### 取り付け前に

- ① 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
  - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開)
    - 【比例制御式】最低必要水圧:A+50.0kPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ
    - 【給湯・給水圧力】最低必要水圧:A+50.0kPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- ② レバーハンドルは全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くなるか、同圧になるようにしてください。  
給水圧力と給湯圧力の差が大きすぎると逆流または、適正な吐水温度が得られず、温度調整が容易にできなくなることがあります。その場合は逆止弁付ジョイント(別売)を取り付けてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑦ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑨ 本製品は改造(加工および接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑩ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

### 取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

**分解図**

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

**取り付け完成図と各部の名称**

シャワーヘッド

散水板

吐水口金具

操作レバー

1 レバーハンドル	16 ホースガイド
2 化粧カバー	17 パッキン
3 座付ナット	18 シャワーホルダー
4 スリッパワッシャ	19 ストレーナ
5 パッキン	20 シャワーヘッド
6 固定ナット	21 クリップ
7 カートリッジ	22 散水板
8 パッキン	23 パッキン
9 本体	24 整流器
10 プラグ	25 ストレーナ
11 ブレードホース	26 吐水口金具
12 パッキン	27 座金
13 カプラー	28 止めねじ
14 シャワーホース	29 水抜き付きカプラー
15 ホースストッパー	30 逆止弁付ジョイント(別売)
	31 パッキン(別売)

※給水圧力と給湯圧力の差が大きく逆流するおそれがある場合には、逆止弁付ジョイント(別売)を取り付けてください。

### 取り付け手順 1

- 1 給水管内の清掃  
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。
- 2 止水栓(別売)・逆止弁付ジョイント[KPS1917](別売)の取り付け  
止水栓は内径13mm以下の止水栓を必ず取り付けください。止水栓はストレーナ付が最適です。寒冷地仕様は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。湯水の圧力差がある場合は逆流する場合があります。その際は逆止弁付ジョイント(別売)を取り付けてください。逆止弁付ジョイントの締め付けトルクは約2000N・cmです。

- 3 水栓本体の取付
  - ① 位置決め穴と位置決めねじが合うように水栓本体を取付穴に差し込み、取付ナットで締め付けて固定してください。
  - 【注意】
    - ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎると、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
    - 【お願い】パッキンの使用枚数は板厚によって異なります。(板厚6~9mmは2枚、板厚10~12mmは1枚)
  - ② 位置決め穴と凸部が合うように化粧カバーをはめ込み、レバーハンドルを下に向け、カートリッジの栓棒に「カチッ」となるまではめ込んでください。
  - 【お願い】
    - ・化粧カバーをはめ込んだ際、カウンターと化粧カバー上部との間にすき間が出来る、または凸部が位置決め穴にはまらない場合、本体を取付穴中心に直してください。
    - ・取り付け後は簡単にはずれないか確認してください。
  - ③ パッキンをシャワーホルダー背面にはめた後、取付穴に差し込み、座金と止めねじで取り付けください。
  - 【お願い】座金の突起のある面が止めねじ取り付け面となります。

## 取り付け手順2

**4 給水・給湯ホースの接続**  
 パッキンをはさみ、袋ナットを工具で締め付けます。  
**【逆止弁付ジョイント(別売)を取り付けた場合】**  
 逆止弁付ジョイントが止水栓に取り付いている場合は、共回りしないように、別スパナで二面幅を固定しながら、袋ナットを工具で締め付けます。  
**【△注意】**  
 ・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。  
 締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。  
 袋ナットは強く締め付けしないでください。締め付けすぎると、ブレードホースがねじれて損傷し、漏水の原因となります。また、締め付け不足も漏水の原因となります。  
 ・薄肉の接続管(ニップル等)には袋ナットを接続しないでください。  
 パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。  
 ・止水栓がしっかり固定されている事を確認してください。  
 固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

**【△注意】**  
 必ず付属のパッキンを使用してください。ゴムパッキン等を使用するとブレードホースがねじれて亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**【△注意】**  
 ・給水・給湯ホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。  
 ・上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどで給水・給湯ホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。  
 ・給水・給湯ホース同士などへの不要な接触は避けてください。摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。  
**【お願い】**給水・給湯ホースは切断しないでください。

**【△注意】**  
 ・給水・給湯ホースを上を引っぱって、はずれないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

逆止弁無仕様の場合  
 逆止弁付ジョイント(別売)を取り付けた場合

パッキン  
 逆止弁付ジョイント(別売)  
 止水栓(別売)

袋ナット  
 止水栓(別売)  
 締め付ける

ブレードホース  
 スパナ等

逆止弁付ジョイント(別売)  
 別スパナで固定  
 締め付ける

止水栓(別売)

A図 B図

給水・給湯ホース

はずれないことを確認

5 ページ

**5 ホースストッパーの取付**  
 シャワーホースのマーキング(赤)がホースストッパーの中心にくるようにシャワーホースに装着してください。  
**【お願い】**  
 両手でストッパーの「ふち」を押さえ、ツメが「パチン」というまで押し込んでください。取り付け後、容易にはずれないことを確認してください。

ホースストッパー

ふち 呷

ツメ

ホースストッパー取付位置

シャワーホース  
 マーキング(赤)

**6-1 シャワーホースの接続**  
 ① (一般地仕様の場合) カプラーとシャワーホースの接続が緩んでいないか確認してください。緩んでいる場合はカプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)  
 (寒冷地仕様の場合) 水抜き付カプラーとシャワーホースを接続します。水抜き付カプラーを手締め後、約30度増し締めしてください。(締め付けトルクの目安は約100N・cm)  
**【△注意】**カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。  
 漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
 ※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ  
 ※シャワーホースのセレーション部以外に工具をかけない  
 ※シャワーホースはねじらない

一般地仕様  
 シャワーホース  
 セレーション部  
 ここに工具をかける  
 シャワーホース  
 しめる  
 カプラー  
 プライヤー等で固定

寒冷地仕様  
 水抜き付カプラー  
 プライヤー等で固定

② カプラー(一般地仕様のみ)のキャップをはずし、スライダーが下におりていることを確認してからプラグをカチッと音が出るまではめ込みます。(寒冷地仕様の場合はエルボが下向きになっていることを確認します。)取り付け後、カプラー(寒冷地仕様は水抜き付カプラー)を引っぱってはずれないことを確認します。

下りている状態  
 上りている状態

スライダー  
 カプラー

スライダー  
 カプラー

キャップ  
 はずす

プラグ  
 カチッ

エルボは下向きに  
 カチッ

押し込む

一般地仕様  
 寒冷地仕様

6 ページ

**6-2**

**【△注意】**  
 シャワーホースは止水栓に引っ掛けないで、給湯ホースの裏側を通してください。シャワーホースが引き出しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーホース  
 止水栓

シャワーホース  
 止水栓

**【△注意】**  
 カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。  
 ・スライダーが上がっていること  
 ・カプラーを真下に引っぱってはずれないこと

スライダー  
 カプラー

スライダー  
 カプラー

カプラー  
 はずれないこと

## 取り付け後の点検と清掃

### 通水確認

**【△注意】**水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返して、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

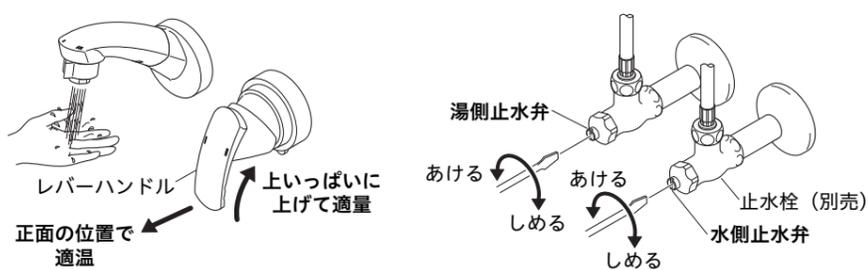
### ストレーナ・散水板・整流器清掃のお願い

シャワーヘッドのストレーナ・散水板・整流器にゴミ等がたまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。また、給水・給湯圧力条件によっては逆流または、温度調整が容易にできなくなる場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

### 湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



7 ページ

## 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
	ストレーナ・散水板・整流器にゴミ等がたまっていますか	ストレーナ・散水板・整流器を清掃する	取扱説明書6ページ 「ストレーナ・散水板・整流器の清掃方法」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
	ストレーナ・散水板・整流器は凍っていませんか	ストレーナ・散水板・整流器にぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7ページ 「湯温・流量調節」
低温しか出ない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	7ページ 「湯温・流量調節」
温度調節がうまくできない	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナ・散水板・整流器にゴミ等がたまっていますか	ストレーナ・散水板・整流器を清掃する	取扱説明書6ページ 「ストレーナ・散水板・整流器の清掃方法」
吐水が飛び散る	ストレーナ・散水板・整流器にゴミ等がたまっていますか	ストレーナ・散水板・整流器を清掃する	取扱説明書6ページ 「ストレーナ・散水板・整流器の清掃方法」

**【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】**

**【△注意】**・修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。  
 ・レバーハンドルやカバーを持ってはずすと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

8 ページ